

令和7年度 第1回 教育委員会

日時 令和7年4月10日(木) 15:30～16:30

場所 町公民館・大会議室

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	高松 公俊
	教育委員	横山 慎子	教育総務課長	野村 敏幸
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	佐藤 光久
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	麻生 昌秀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			教育総務課係員	伊藤 菜月
			SSW	松尾 容子
			議事録	古高 望

傍聴者 0名

○開会の挨拶

○教育長挨拶

(教育長)

幼児教育や、公民館との連携について触れ挨拶を行った。

○教育委員会職員紹介

異動、入庁のあった職員だけでなく、教育委員会全員が自己紹介を行った。

○教育長事務報告

(教育総務課 係長)

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

(社会教育課 主幹)

教育総務課と同様、行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

○協議事項

(教育総務課 係長)

小中学校の主任等の発令について。

(一同承認)

職員配置図、4月9日現在の小中学校の生徒数の状況について。

全校生徒 小学校 341名

中学校 215名

(教育総務課 主幹)

小中学校の教職員、転出、転入について。

(教育総務課 主事)

令和7年度 準要保護の認定基準及び申請世帯の状況について説明を行った。

準要保護認定者 小学校70名

中学校45名

(教育委員)

今回の準要保護児童生徒の最低生活費の計算の仕方について質問。

(教育総務課 課長)

世帯の収入を生活保護基準の最低生活費を求める計算により求めている。町の基準はその1.14倍。

(教育総務課 係長)

令和7年3月に中学校を卒業した生徒の進路状況についての報告。

(教育総務課 主幹)

4月に起こった小学校児童生徒の交通事故について事後報告

綾町教育目標の達成に向けて幼保小中の取り組みを強化すべき。主な活動として、小中合同挨拶運動の実施、台湾との交流を開始する。小学校においては、群馬県にあるユネスコスクールとの交流予定もあると報告。また、働き方改革として時間外留守番電話を導入。部活動の地域展開として、地域の人材を生かした取り組みを行いたい。

(教育委員)

部活において、顧問という枠組みがなくなるということか。

(教育総務課 主幹)

土日の部活を指導するときに、教員としてではなく指導者としてみるというような形になる。例えば、綾中学校の先生で野球をしている方がいれば、その方は自分の地域で見るといったようなもの。

(教育委員)

「教える教育」から「育む教育」にシフト変更を。去年は、小学1年生での不登校生徒が多かった。スタートが遅れるとレーンにのれない生徒が多いため、不登校者を0にするのを目標にしてスタートを慎重に行ってほしい。また、就学前は何もなかった環境からいきなり教科書やタブレットのある環境になってしまうため、まずは「調べる」ということの楽しさを伝えてほしい。

(教育総務課 主幹)

授業を教え過ぎているのかもしれない。子供たちをもっと「みる」教育を。今年は出席で

きなかった生徒が一人のみであった。今まで実施したことの成果が見られてきていると思われる。

(教育委員)

小中学校には用務員さんがいるが保育所はどうなのか。

(教育総務課 課長)

予算が確保できなかった。今年は様子を見るところ。先生方では修繕や掃除は厳しい為、教育委員会としては配置を行いたい、実行できていない。シルバーセンター等を活用したいと考えている。

(教育委員)

今まではされていなかったのか。

(教育総務課 課長)

シルバーセンター等の活用や教育委員会で取り組んでいた。

(教育委員)

民間では、ハローワークを通じて配置を行っているところもある。そのような機関も活用して短時間の募集などしてみても良いのではないか。

(教育長)

綾町は教育委員会が幼保を担当。他と違った取り組みもできるのではないか。
先生だけでなく保護者にも刺激を与えることなどを考えていきたい。

○その他

(教育総務課 係長)

東諸県郡連絡協議会の案内

次回の教育定例会の案内

(教育総務課 課長)

今年4月から特別支援学校の方でバスの手配が始まった。町の体育館が送迎場所になる。

(教育委員)

どなたかが働きかけをしてくださったのか。

(教育総務課 課長)

国富町の方が働きかけを行ってくださった。

○閉会